

新しい第三セクター をつくる

「公共だけ」「民間だけ」では、実現できないまちづくりがあります。

箱からでなく運営から逆算した場の活性化が求められるようになり、PPPやエリアマネジメントの手法が新しい局面に入りつつあります。

公共と民間が連携した様々な事例を紹介しながら、みなさんと一緒に、新しいまちづくりの方法について考えていきます。

イラスト：葛飾区専有リリオプロジェクト

ひろせ いく

広瀬 郁 氏 株式会社トーン&マター代表/プロジェクトデザイナー

1973年東京生まれ。建築学を専攻後、経営コンサルティングファーム、不動産ディベロッパーに勤務し、2008年に独立。企業・行政などの「組織」と「クリエイター」をつなぎ、新奇性の高い多様なプロジェクトに参画している。



2017年11月22日(水)

18:30 ~ 20:30 (開場18:00)

松山アーバンデザインセンター 1F
(松山市湊町三丁目7-12 もぶるテラス)



参加申込み・お問合せ先

氏名・所属団体・連絡先(メールアドレス・電話番号)を明記のうえ、メールまたは電話でお申し込みください。定員超過による連絡がない限り、ご参加いただけます。
メール udcm.matsuyama@gmail.com / TEL 089-968-2921 (担当:小野)

主催 松山アーバンデザインセンター

参加無料
定員30名

2017年11月22日 (水)

18:00-18:30 開場・受付
18:30-20:00 講演
20:00-20:30 質疑応答

こんな人にオススメ!

- 松山に不動産を持つ不動産オーナー
- 松山で事業を展開するビジネスオーナー
- 公的不動産を管理する行政職員

まちづくりに
関心のある
学生さんも
ぜひどうぞ!

ひろせ いく

広瀬 郁氏

株式会社トーン&マター代表取締役/東北大学大学院非常講師

1973年東京都生まれ。東京理科大学工学部建築学科卒業。1999年横浜国立大学大学院建築専攻卒業。外資系経営コンサルティングファーム勤務を経て、2001年都市デザインシステムに入社。ホテル「CLASKA」ではコンセプトメイキングから事業企画・プロジェクト推進まで総合的なプロデュースを担う。また、事業再生ファンドに対して企画コンサルティングを展開。2004年から執行役員として上海事業部を担当し「diage」を総合プロデュース。2008年株式会社トーン&マターを設立。飲食店、美容サービス店などのプロデュースに加え、大型商業施設のコンセプトメイキングなど複数のプロジェクトにコンサルタントとして参画している。



事例紹介

広瀬氏が手掛ける「組織」と「クリエイター」をつなぐプロジェクト。あなたの取組みのヒントになるかも?



横浜ベイスターズのコミュニティボールパーク構想

プロ野球を観戦する人もしない人も楽しめる場をつくることで、コミュニケーションを育む地域のランドマークを目指す構想。野球場がある公園内にスポーツをテーマとする複合施設「THE BAYS (ザ・ベイズ)」を整備し、飲食店やショップ、シェアオフィスなどを展開している。



fablabシブヤ

個人が自由にもものづくりできる実験工房。3Dプリンターやレーザーカッターなどの機材を備え、オリジナルグッズの制作・情報発信を行うことができる。併設されたシェアオフィスに入居しているデザイナー、建築家、写真・映像関係者とのクリエイティブな交流も盛んに行われている。



葛飾区亀有リリオプロジェクト

亀有地区に新たな魅力を生み出す公民連携リノベーションプロジェクト。都市再生機構が所有する商業施設「リリオ館」1階のイトーヨーカドー社員食堂スペースの賃貸終了に伴い、ファミリー向けの飲食店や図書スペース、人が集まる広場を新たに整備する。2018年4月オープン予定。